

ご挨拶

長谷部 勇一
横浜国立大学 学長
ダイバーシティ連携協議会KT議長



横浜国立大学と共同実施機関である大成建設株式会社、帝人株式会社は、平成30年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」に採択され、3機関によるプロジェクトを開始いたします。

プロジェクトの目的は、各機関や地域の特色を生かしながら相互に協力し、また、多くの機関と連携することにより、多様性に富む研究環境を整備するとともに、女性研究者・技術者の活躍促進を牽引していくことです。

実施にあたり、2018年12月に、3機関と神奈川・東京に拠点を置く企業・研究機関・自治体などのネットワーク機関によって構成される「ダイバーシティ連携協議会KT」を発足させました。今後は、「ダイバーシティ連携協議会KT」を中心に、ワーク・ライフ・バランスに配慮した研究環境の整備、女性研究者・技術者の研究力向上とリーダー育成、次世代の理系女性の育成及びキャリアパス構築など、多くの事業を展開してまいります。

皆様の一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

目標

Our Goal

1. ワーク・ライフ・バランスに配慮した環境を整えます
2. 産官学の共同研究を行います
3. 次世代の研究者・技術者を育成します

募集しています

Join us

本協議会は、神奈川・東京地域の産官学を対象とし、今後も拡大して参ります。

本事業の趣旨にご賛同いただける機関を募集しておりますので、ご関心のある機関様は、ぜひ下記にご連絡ください。

随時加入可能で、費用は無料です。

メリット

- ・貴機関および地域のダイバーシティ促進に関する課題解決
- ・産官学連携による情報交換・イベントへの参加
- ・生み出したライフイノベーションのメディアを通じた情報発信



問い合わせ先

横浜国立大学 男女共同参画推進センター
ダイバーシティ連携協議会KT事務局

住所 〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区 常盤台79-4
N3-4 経営学部1号館 1階 #104

TEL : 045-339-4177 FAX : 045-339-3234

email : sankaku-diversity@ynu.ac.jp

ホームページ : <http://www.sankaku-diversity.ynu.ac.jp/>



文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」

多様性で、神奈川・東京の未来をつくる

[代表機関]



[共同実施機関]



ワークライフバランスを実現します。

私たちは、ワークライフバランスやダイバーシティに配慮した研究環境を整備します。社会は、多種多様な人々で構成されており、持続的な発展のためには、それぞれの生き方やライフステージが尊重される必要があります。

また、私たちは、事業の取組みや成果について、ホームページや地域メディアを通じて広く発信し、横浜を中心とする神奈川・東京のダイバーシティ研究環境の実現に貢献していきます。そのために、国内外の諸機関との連携も積極的に行います。

ともに研究を行います。

私たちは、「ライフイノベーション」に関する共同研究を行います。ライフイノベーションとは、生命科学をはじめ医療、健康など生存に関わる研究から、暮らしや生活の向上に資する理工学・文理融合領域の研究を通じて、新しい仕組みを作り、実装し、社会に変化を生み出していくことです。共同研究では、クロスアポイントメントや、女性が代表者となる研究プロジェクトを推進します。

※「クロスアポイントメント」…研究者等が大学、公的研究機関、企業の中で、2つ以上の機関に雇用されつつ、一定のエフォート管理の下で、それぞれの機関における役割に応じて研究・開発及び教育に従事することを可能にする制度。(経済産業省の定義より)

これまでの歩みと今後

これまでの取組と今後の計画は以下の通りです。

- ◎ 2018年度
 - ・連携協議会の発足(12月)
 - ・キックオフシンポジウムの開催(3月)
 - ・参画機関の拡大によるネットワーク形成
- ◎ 2019年度
 - ・研究者・技術者のための交流会(7月)
 - ・共同研究のためのマッチングイベントの開催
 - ・高校生向け講座(10月) ほか

クロスアポイントメント

共同研究

◎代表機関

横浜国立大学

◎共同実施機関

大成建設、帝人

リカレント教育

ダイバーシティ連携協議会KT

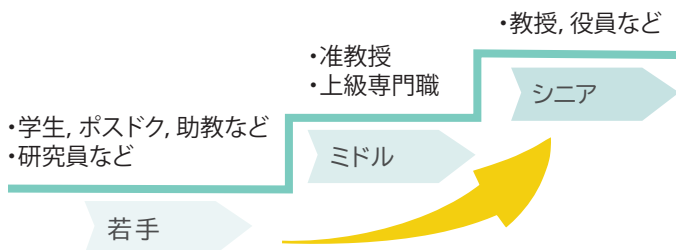
環境整備

育成・交流

情報発信

◎ネットワーク機関

理化学研究所 かなテラス
横浜市経済局 アイネット
神奈川新聞社 テレビ神奈川
tvkコミュニケーションズ
横浜市男女共同参画推進協会
富士通エフサス 進研アド
Peatix Japan Kienbaum Japan
Mintomo株式会社



研究者・技術者を育てます。

私たちは、共同研究を行う中で、クロスアポイントメント制度の活用や女性が代表者となる研究プロジェクトの推進などによって、研究力の向上を図り、上位職登用へつなげます。また、ライフイベント中の研究者に対する研究支援員制度の共同実施、企業の技術者などへのリカレント教育などを進めます。さらに、学生の将来の進路選択に資する、啓発イベントなどを行います。これらを積極的に発信していきます。

※「リカレント教育」…社会人の学び直しのこと。自己啓発によって、生産性の上昇、年収の増加、昇任などの効果が期待されている。

ダイバーシティ連携協議会KTメンバー



◆シンボルマークについて

「ダイバーシティ」とは、多様性のことです。組織が、性別、人種、国籍、宗教などの様々な属性をもった人を、積極的に経営に生かすことを意味しています。このシンボルマークは、それぞれのカラーと大きさが存在し、調和しつつ、一体となってきれいな花を咲かせている、ことを表現したものです。表紙の、シンボルマークを端に寄せたデザインは、本協議会の今後の可能性への希望を込めています。